

# KS KR パンジーだより かえる会報告



No. 44 発行 2001年7月

東京の浅草で女子短大生、小川由美子さんが殺害される事件がありました。そして、5月31日、知的障害者の山口誠さんが起訴されました。

この事件について、5月23日の産経新聞に小田晋氏（帝塚山学院大学教授）が意見を載せています。（7ページ参照）そして次のような抗議文をつくりました。

## ～小田晋と産経新聞に抗議する～

私たちは、これまで「障害者である前に人間だ。自分たちの事は自分たちで決める。」ことをめざして活動してきました。わたしたちの事が報道される時は、ほとんどが事件の犯人だった時と虐待された時です。わたしたちの人間性が消し去られた報道は、本当に残念です。また、怒りを感じます。

今回、小川由美子さんが亡くなったのは、悲しいことだと思います。山口さんは殺人を犯してしまったならば、罪はつぐなわなければならないと思います。

しかし、知的障害をもつ同じ仲間として、彼がどんな気持ちだったかを想像しました。大事に思ってくれる人がいなくて、さみしかったんだと思います。レッサーパンダ帽をかぶっていたら、めだつので、だれかが声をかけてくれると思ったのかもしれません。そして、仕事もなくて、どうしたらいいかわからなかったのだと思います。私たちにも同じような経験があるので、その気持ちはよくわかります。

そして、そういう気持ちになるのは、知的障害者であることを理由に、いじめられたり、理解できることも教えられなかったりしてきたからです。これは、差別です。

私たちにはわかります。山口さんに必要なのは、精神病院や入所施設にいれることではありません。生活の相談にのってあげる人や、仲間をつくれるように助けてあげる人です。たくさんの友達ができたら、こんな罪は犯さないと思います。制度のこと（年金、生活保護、ホームヘルパー）も知らなかつたのだと思います。

小田晋は大学の先生だととききました。えらい先生が、知的障害者を決めてつけないでください。産経新聞は、こんな意見を新聞にのせないでください。みんなが信じます。

私たちは、障害者であるまえに一人の人間です。

楠淑美

一九九六年五月一日

第三種郵便物認可

毎日発行

額価二五〇円

## パン・PAN・クリエイティブ・CREATIVE・配食サービス・HAISYOKUSERVICE



### レベルアップを目指す！！

先日催された「パンジー祭」では、この日限定の「シナモンロール」が大人気でしたが、通常のメニューにも、くるみがたっぷりの「ころころクッキー」やアールグレイを使った「紅茶パウンドケーキ」が加わり、また皆様に大好評の「カルゲンエース」に新商品の「ダイエットカルゲン」を登場させようかと検討中のところです。

また6月中旬よりパンの先生が指導に来られています。「これはあかん。全然あかん」と怒られることもあるれば、「おっ、これはいい！」と讃められたりと、先生の指導に全員が一喜一憂しているパン工場は、今までになく緊張感が漂っています。今までの自分流のやり方に疑問を抱かずにやっていた当事者ほど、その指導を受け入れがたいように見えますが、ここをなんとか乗り越えて欲しいと願っています。（福岡）



### クリエイティブのリーダー

いつも元気な声と、ハンガーの仕事に対する熱気であふれている、そんなクリエイティブの当事者のリーダーの1人として4月から過ごしているYさんの責任感の強さ、やる気にあふれている姿の1つを、今回はお話したいなあと思います。

毎朝、厨房に出す当事者の出席簿の表のチェックをYさんに頼んで約3ヶ月になるのですが、最初はとても不安そうな顔でチェックした後、見せにきてくれていました。ところが1ヶ月過ぎたぐらいからでしょうか、支援者に見せにきてくれる時に「今日は、○○さんが休みやわ。」と自信を持って、伝えてくれるようになっていました。それもそのはずです。Yさんは出席確認をすることになってから毎朝自分がパンジーにくると、出席簿を持ち送迎車が来るのを玄関の所で待って、当事者の人たちを迎えてくれていたのですから。毎日の努力の大切さをあらためて教えてもらったようにおもいます。

今ではバスなどが来ると大きな声で、職員にも送迎車が来たことを教えてくれています。今朝も玄関からYさんの、「バスきたでー。」の声がもうすぐ聞こえてきそうです。

(みか)



パン・PAN・クリエイティブ・CREATIVE・配食サービス・HAISYOKUSERVICE



## ラベンダー畑で会いましょう

気持ち落ちつかさせる香、ハーブの女王、ラベンダーの苗がパンジーIIには、たくさんあります。苗を集めておいてあるのを見るとまるで畠のようにみえます。その香の中、みんなでハーブや野菜の苗を育てています。ゆっくりとそれぞれのペースで、大事に育てています。

「当事者が中心となって、仕事のことや色々なことを考えていきた  
い、決めていきたい。」 そういうことも、落ち着いた環境の中で、そ  
れぞの当事者のペースで考えていけたらと思います。

パンジーIIでも、2年目になって、お弁当、しじみ、園芸の仕事が少  
しずつ忙しくなってきています。当事者も支援者も一緒になってゆっくり、  
ぼちぼち頑張っていこうと思います。

応援よろしくお願ひします。

みたて



## いっしょに地球一周 ひませんか？

「パンジーIIの清水一男です。今度9月9日からピースボートに乗って、地  
球一周しようかと思ってます。今まで東京とか、一人で行ったことがあるけど  
外国は心配なので、一緒に船に乗る人おらんかなーと思っています。」

9月9日からのピースボートに乗る予定の方、または知り合いが乗る、という方がいました  
らぜひ、ご連絡ください。 よろしくお願ひします。

(0729-60-3611 わくわくまで)



# グループホーム日誌

兀の1

## <「てくてく」でがんばっています>

てくてくで月曜日から金曜日まで、とまるのがたのしみです。グループホームでいろいろな人ととまるのがたのしみです。いろいろおぼえたり、りょうりをいっしょにつくって、みんなといっしょにがんばりたいとおもいます。いろんなことをしたいです。グループホームでがんばります。

表 孝子

表さんが4月9日から「てくてく」で生活するようになって、早2ヶ月がたとうとしています。同じように「はやぶさ」で生活することになった平石さんといっしょに準備をして、女性らしいインテリアの素敵な部屋ができました。得意な調理で介護者以上の腕を見せてくれる表さんです。朝食のメニューもバラエティに富んでいます。春雨サラダが一番の得意料理です。ほかのメンバーさんも表さんに影響されて、それぞれの曜日が活気づいてきたようです。色々なことをしたいと思っている表さんと、これから何ができるのか、何をしていくのか楽しみです。

(みつえ)

兀の2

## <のんきに100数える>

「はやぶさ」という名が誰の命名かよく知らぬ。そういう私が世話人なのである。「はやぶさ」は吉原というところにあって、吉原というのは吉が茂っている湿地帯みたいな所だったろうなと思う。近くの河がいつも近くの家と同じぐらいの水位だから、低湿地帯。昔は水害等苦労もあったんだろう、上の空のように思う。

こここの利用者でHさんという人は冗談のセンスが抜群な照れ屋で、私は「笑いの師匠」として慕っている。ほかに自閉症の方もいる。そんな中で思うのは、平凡に「メシ食って風呂入って寝る。」というのが、色んな事が如意で不安な障害者にとって大事だということ。「メシ食って」云々など退屈過ぎはしないか、そんなの殺伐しているという方もいるかも知れない。でも、今まで50数えたら風呂から上がっていた人がほっぺたを桃色にしてのんきに100数えてくれてたりするといいもんですよ。つべこべ言われずに心穏やかにする。生活っていいなと思える瞬間かな。

(石川)



## 〈つばさに仲間がふえました〉

4月9日から新体制が始まり、早や2ヶ月がたちました。今年は、新しく「はやぶさ」もでき、グループホームもますます活気づき、つばさにも新しくMさんが仲間に加わりました。12月にパンジーのメンバーになったばかりのMさん、入居当初は、慣れない環境と、家に帰れないことへの寂しさからか、随分と落ち着かない感じでしたが、日がたつにつれ、自分なりの過ごし方も見つけ、笑顔も多くみられ、のんびりと毎日くつろいでいます。他からのメンバーも最初は、新しい仲間に戸惑いながらも、今では一緒にゲームをしたり、「Mさん、Mさん」とおやつをあげたり、しています。したいことや、ペースがそれぞれ違うのですが、それでいて、なぜかいろんなところでつながっているのを感じます。他の人のことも自然と意識しあえるところは、グループホームの良さなのかなと思います。



これから暑くなっていますが、今年もみんな夏ばて知らずで暮らしていくんでしょ  
うねえ。

(のむら)



新年度が始まり弁当数も増え弁当作りに初めて参加するメンバーもちろんみられ、活気ある雰囲気の中で盛りつけています。昨年からのメンバーは新しい人達に教えてあげながらも、あっという間にごはんをつめ、おかずを盛りつけていますので、最近は厨房のおかず作りのスピードが追いつかないほどです。

厨房の方も新体制となりましたが、盛りつけの皆と共に頑張っていきたいと思います。2年目を迎えて、マンネリ化してきたメニューが気になっています。少しづつ新メニューも取り入れていきたいと思っています。

古城

## どらえもん会・わくわく会のページ

産経新聞の「正論」に、浅草の女子短大生殺害事件について、小田晋という大学の教授が書いた文章が載りました。内容は、「知的障害者はふつうの刑罰では役にたたない」「精神病院に入れなさい、その後は入所施設へ隔離しなさい」、そして「強い薬で動けなくさせなさい」という内容でした。

この文章について、どらえもん会と、わくわく会で話し合いをしました。みんなの意見を紹介します。

- ・小田晋は、当事者を馬鹿にしている。そんな話を新聞に載せるなんて。小田晋と載せた新聞を裁判にかけなあかん。人を殺したことは悪いよ。でも、山口という人は友達がおらへんかったんかもしれん。なんもあんなことを言うことはあらへん。刑も受けて、普通の人のようにしたらいい。薬で動けんようにさせるのはおかしい。
- ・ひどいと思う。外に出させない、けいさつみたいに ずっと外に出させないなんてひどい。うんどうも できない、ひどい。くすりのませてずっとそこにいるなんてびょうきになる。
- ・イヤヤ、おかしいと思う。
- ・ふつうは「何年」と刑が決まる。それでつみをつぐなう。人権があるから、はいりょしないといけない。
- ・ひどすぎる。ふつうそんなんせーへん！
- ・そんなん、やったらあかんことちゃうん！（怒り）
- ・そんなんいややー。こわい。



- ・そんなんかわいそうやからしないでほしい！
- ・こんなん新聞にかくな！
- ・新聞にだすな！ もーあたまくるよ。
- ・言った人を刑務所につれていけ！！

・いややー。

・くすりをつかうのはおかしい。発作の薬だったらしいが、おとなしくさせるのはダメ。

・ちてきしうがいをもっていても、私みたいに、ふつうとかわらん人もいる。いややな。

・そんなのされたら、人間とは ちがう。

・他の人とおなじにしてくれ！

・そんなのはいやだ、困る。

・ふつうの人と同じように、刑務所に入ったらいい。

・差別や！！私たちのことを何とおもってんの。何もできんとおもってんのか！



~~~~~ 母子分離できていない  
浅草の女子短大生殺害事件  
は、札幌の二十九歳になる元  
塗装工の犯行だった。過去に  
強制わいせつを犯したことの  
ある前科四犯の若者である。  
札幌の養護学校を出た後、犯  
罪を繰り返し、その間に精神  
鑑定を受けたこともあり、知  
能指数は別々の施設で四九な  
いし五一と算出されているか  
ら、軽度から中等度の知的障  
害が存在することになる。

「レッサー・パンダ帽の男」  
として手配されていたが、本  
人はこれを犬の帽子だと思  
っていたようである。「単純な  
話ができるが複雑な話になる  
と前後がつながらない」と実  
弟は述べている。検査官の語  
るところでは、取り調べで答  
えられない質問が出ると「お  
母さんが知っている」と意味  
不明のことと言ふと伝えられ  
る。加害者は母親が死んだ事  
実をまだ受け入れておらず、  
人格的に母子分離ができてい  
ないのもしかねない。

唯一の庇護者であった母親  
は四十歳で死亡していて、彼  
が凶暴性と放浪癖を反復しは  
ない。

事件の凶行自体は、両手でい  
つ事件の際、被害女性が「嚴  
重に罰してほしい」と訴え、  
文化庖丁を取り出し、逃

撃で下腹部を切り裂くという  
原因にしていいだろうか。

じめたのは、それ以後のこと  
であるときれるが、果たして  
母親が生存であったなら、そ  
れが起きなかっただどうか判  
らない。学校でいじめに遭っ  
ていたと伝えられるが、それ  
を原因にしていいだろうか。

じめたのは、それ以後のこと  
であるときれるが、果たして  
振り下ろし、更に右胸を刺  
し、第三撃でみぞおちから肝  
臓と大動脈を刺し、これが  
致命傷となつたが、更に第四

撃で下腹部を切り裂くという  
残酷なものであった。

加害者のよつとふだんは内氣  
でおとなしく、それが四ヶ月  
ごとにいなくななり、放浪をは  
じめるというは知的障害者

の挿間的気分交換状態として  
以前から知られていた。その  
時に異常な言動があつても、  
精神分裂ではない、といいう  
ともわかっている。

「レッサー・パンダ帽」の犯罪は防げた

# 「レッサー・パンダ帽」の犯罪は防げた



正論

帝塚山学院大学教授 小田 晋

可能性が大である」と主張し  
たのに、懲役三年、執行猶予

五年の判決となり、実質上は  
處罰を受けない。その後

無錢飲食で執行猶予を取り消  
されている。つまり、こうい

う知的障害のある性犯罪者に  
しても、挿間的に状況が悪化

する場合でも、本件のように  
凶悪事件に発展することを  
防ぐ方法はある。それは精神

科医や弁護士の団体の反対によつて、主要国ではわが

國のみに存在しない「治療處

分」の立法化である。つまり  
刑事裁判所が心神耗弱を認め

る代わりに精神障害が軽快  
し、将来も再犯の危険性がな

くなるまで入所療養を命じる  
制度、及び出所後定期的に通

院を命じ、怠つたら施設に取  
容するという制度だ。

知的障害者が長期間拘禁し  
くし、乱暴がはじまつたら却  
つて強制退所させられること

さえある。

精神病院は、一時的な不穏

状態が収まつたら、知的障害

自体は治らないから、院内に

置くのは「人権侵害だ」とい

うのでさしさと退院させてし

まう。その際、将来の犯罪や  
事故の危険が考慮されること

もある。日本だけだと言つていい  
のである。(おだ すすむ)

はほとんどない。起訴され  
ても、社会的危険性は考慮され  
ず、心神耗弱が情状酌量とい  
うことで中途半端な短期の刑  
になる。この傾向は近

年、「(加害者のみ)人権を口実に強まつてゐる。

知的障害に性的異常性が存  
する場合でも、本件のよ

う凶悪事件に発展することを  
防ぐ方法はある。それは精神

科医や弁護士の団体の反対によつて、主要国ではわが

國のみに存在しない「治療處

分」の立法化である。つまり  
刑事裁判所が心神耗弱を認め

る代わりに精神障害が軽快  
し、将来も再犯の危険性がな

くなるまで入所療養を命じる  
制度、及び出所後定期的に通

院を命じ、怠つたら施設に取  
容するという制度だ。

知的障害者が長期間拘禁し  
くし、乱暴がはじまつたら却  
つて強制退所させられること

さえある。

精神病院は、一時的な不穏

状態が収まつたら、知的障害

自体は治らないから、院内に

置くのは「人権侵害だ」とい

うのでさしさと退院させてし

まう。その際、将来の犯罪や  
事故の危険が考慮されること

もある。日本だけだと言つていい  
のである。(おだ すすむ)



## 便秘の話

中新井潔子

何をかくそく私は子供の頃からの年季の入った便秘症である。これまた余談だが、前回登場した夫から 始めて貰ったプレゼントが緩下剤という忘れ得ぬ思い出もある。しかし薬も食事療法も青汁もあまり効果がなかった。最近知ったことだが、便秘には腸の蠕動の弱い弛緩型と腸が細くなる痙攣型の2タイプがあるという。二種類の薬を貰って飲み比べてみると、後者の対応の薬が私には良く効いた。おかげで長年のつかえが下りた感じがして、気分も体調も良い。それにしても 夫に私の腸が長すぎて神経が届いていない部分があり、便が溜まってしまうのだろうと云われて、40年間ずっと自分は間延びた人間だと思い続けてきたものだ。ところが痙攣型はストレスなどにより腸が縮まるのが原因とのこと、私の腸は性格とは違って幼稚園の頃から神経質だったのだと、今度夫に会つたら一番先に報告しようと思っている。

冒頭からつまらない(イヤつまる)話になったのは今回は、こんな私の経験が役に立つて長年の宿便がとれたDさんの話だからである。

服薬により2~3日に1回自然に排便があるので、浣腸や摘便の必要がなくなった。しかしOさんには排尿困難の問題がまだの凝っている。

彼の排尿パターンは1日1回大量に失禁する以外はあまり出ないのである。介護者にはオシッコはがんばるとよけい出にくくなるので、トイレに入ればリラックスを心がけるようアドバイスしているが、一方前立腺肥大の可能性も考えられる。様子をみながら泌尿器科受診も検討している。

社会的入院だったとはいえ、Dさんは長い期間医療スタッフの側にいたのである。にもかかわらず日常生活を支える身体の情報がほとんど得られていない。排泄だけでなく、歩きの困難も彼の外出活動を阻んでいるのに。つんのめるようなバランスの悪い歩き方や、多動なのに数分も歩けば倒れこんでしまう原因は何なのか。脳機能の問題か長期入院による筋力低下?または目的志向の持ちにくさか、いや薬の影響か病院の専門家達は誰も考えてくれなかつたようだ。退院後も家庭での生活が困難で、ホームヘルプ、デイサービス、ショートステイと多くの人がかかわったが、各自のかかわりがコマぎれで生活の全体像がつかめなかつた。Dさんの排泄の問題が出てきたのは、彼がグループホームで生活するようになったからだ。一貫して安心して暮らせる場所の重要性を改めて感じている。Dさんは最近スタッフの同伴で別の精神科医の診察をうけ、種々検査中とのこと。今度こそ 生活の観点からの情報やアドバイスをいただけると喜んでいる。



# ルネ・ヴァンダール・ハダセの 愛のエッセイホロスコープ

## やましたしんじ（山下真司）

★山下真司とは、映画俳優である。この人のファンは何人もいるが、役がらは二枚目であるし、ホームドラマとかでよくテレビにでている。背はやや高い。若くてしぶい役がらが圧倒的だが、他の時代劇だとかも出演している。この時は、さむらい役だとかをして、人気をアップしている。

## ゆきさおり（由紀さおり）

★由紀さおりという人は歌手であるし、その他の人のコンサートにもでている。人には親しまれている人であるし、中には何枚もレコードを売り上げているし人気もある。この人はファンからも何通も手紙がきている。またこの人は声も美しくきれいで、美声あふれている人でもある。

## よこいしょういち（横井庄一）

★横井庄一とは、昔戦争に行ってきた、戦ってきた人である。世に残るものは、横井庄一の戦争ただ一つの物であり、この人自身の人生は果てしなく、戦争のまっただ中生きてきた人である。なかには、横井庄一といっしょであとかたもなく、この戦争で何人が死んだ人もいる。この人は戦時の一歩を踏んだひとである。

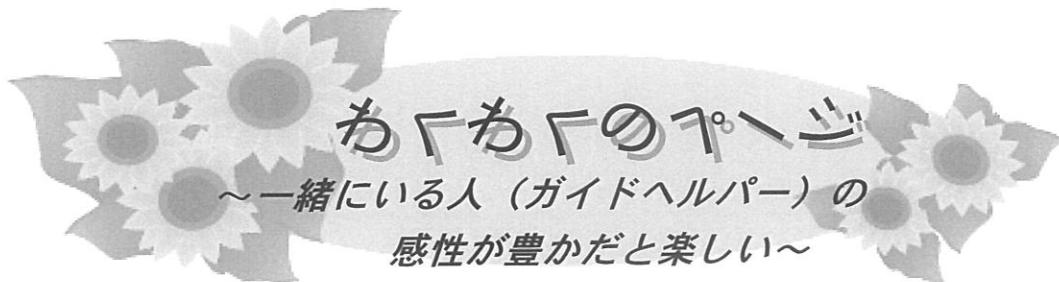
## わだあきこ（和田アキ子）

★和田アキ子は日本でも有名な歌手である。他の人にも人気があって、その他大勢の集まりの人たちとも好んで、人には氣があいそうな気がする。ゴッド姉ちゃんといわれている人である。人かまわず怒り出すとこわい人である。

お知らせ

ながらくのご愛顧ありがとうございます。残念ですが、今回をもちましてエッセイ群雄録は終了しました。





5月26日（土）、パンジー祭りが終わったあと、今年度第一回目のガイドヘルパー研修会を行いました。講師は「全障連関西ブロック」の山川秀樹さん。わくわく利用者には視覚障害を持っている人が数人いるので山川さんには、「視覚障害者として生きてきて」、「TPOに合わせた遊び方」、「手引きのノウハウ」などお話ししていただきました。話の後は、実際にアイマスクや白杖を使ってパンジーの外へ出かける体験をしてみました。

山川さんの話で印象に残ったことは、駅のホームは「欄干のない橋」に等しく、視覚障害者の2～3人に1人は落ちた経験を持つということ、山川さん自身も2度も落ちた経験があるという現実でした。「ホームドア（ニュートラムや空港に見られるような、電車の各扉の位置に合わせて駅のホームに設置してあるドア」の必要性をつくづく感じました。もうひとつは、ボーリングや映画、カラオケ、買い物など遊びの場面で、ヘルパーにしてほしいことの話でした。色々の場面で「単に状況を説明するだけでなく、その人（ヘルパー）の主觀が入ってもいいということ、どんな場面でも一緒にいる人の感性が豊かだと楽しい」ということでした。

パンジー祭りでのこと。ヘルパーさんが日傘をさしてTさんの手引きをしていました。背の高いTさんは頭をかがめるような格好で2、3度日傘が頭にあたっているようでした。見かねて話をしに行くと、Tさんから「日傘がじゃまだった」とすぐに返事がえってきました。しかしその気持ちを伝えるのためらいがあったようです。ヘルパーさんにTさんから直接、その時の気持ちを伝えてもらいました。そこで初めてTさんがそう思っていたということがヘルパーさんに伝わり、今度から気をつけるということになりました。

して欲しくないことをヘルパーさんに伝えることは、関係を作っていく上でとても大切ですが、知的障害を持つ人たちにとってはそれが難しいのが事実です。だからこそ常に「こんな時Aさんはどう感じるだろう」と、障害を持つ人がどう思うかを考えながら関わることが大切なんだと思います。いつも感性をとぎすませて、心のアンテナを伸ばしていきたいと思います。  
(にっしゃん)

# 就労支援ば"ちばちと始めました

今年の4月から自立生活支援センターの中に「就労支援部門」を設け、授産部門の支援者と連携して、本格的な支援を開始しました。とは言え、就労支援の経験も乏しくノウハウもないで、ジョブコーチマニュアルを読んだり、セミナーなどに出席して支援者自身の勉強から始めているのが現状です。ばちばちと始めた就労支援の現場報告をします。

この2ヶ月間、新聞チラシやハローワークの求人情報などをもとに、いろいろな企業・事業所120カ所くらいに連絡を取りました。その中で職場見学までさせてくれたところが1割程度、実習（と言っても1日だけのものや支援者の実習を含めて）までいったのは3カ所で、残念ながら採用された人はまだいません。でも、Aさんがベーカリーレストランで実習を4日間、毎日3時間行ないました。初めて会う人たちと初めて行うパン作りの仕事。すごい緊張とプレッシャーの中で頑張っているのがひとひしと伝わってきました。毎日通うごとにどんどんスピードアップし、一つの仕事が終わるたびに告げる「終わりました」という声も最初は自信なげな小さい声だったのが少しずつ大きな声になっていきました。実習をやり遂げたAさんは、早朝6時半から午後2時まで、土曜・日曜勤務というきつい労働条件でしたが、「ここで働きたい」という気持ちが確固たるものになっていきました。私もAさんがんばりと職場の皆さんとの暖かい関係、オーナーの障害者雇用に対する理解などから「たぶん採用にむけて考えてくれるだろう」と思っていました。ところが、その見方は甘かったのでした。結果は不採用。理由はいろいろありますが、何と言っても支援者の「話の詰めの甘さ」と感じています。Bさんの支援においても、生協での1日実習、採用に向けた本社の人事担当者や障害者職業センター職員を交えた話し今までいったものの、結局は「今はむずかしい」ということで実を結びませんでした。

先日お話を伺いに行った箕面市障害者雇用支援センターのKさんは「何人就職した、という数字だけをあげても意味がない。一人ひとりに対する丁寧な支援が一番大切。一年目は1人就職できたらいいというくらいの気持ちでやった方がいい」とアドバイスしてくれました。そうとは分かっていても「夏までに就職したい」というAさんの夢、新聞の求人チラシをいつも見ているというBさんの再就職を実現したいと焦る毎日です。



(ずし)

## 新人紹介のページ

水谷さんは昨年9月からパンジーのショートステイを利用し、今年1月から正式にパンジーのメンバーになりました。最初は言葉も少なく落ち着かない様子でしたが、今では安心してゆとりができているように感じます。そんな水谷さんに、いろいろ質問してみました。

山根：パンジーに通うようになって半年がたったけど、パンジーは楽しい？

水谷：あかんやん

山根：「あかんやん」じゃ無くて、パンジーは楽しい？

水谷：楽しいよ

山根：何が一番楽しい？メンバーと遊べる事？

水谷：.....

山根：お昼ご飯はおいしい？

水谷：おいしいわー(笑)

山根：仕事には慣れた？お弁当と園芸、どっちが楽しい？

水谷：あかん！あかん！あかん！あかんやんか もう！

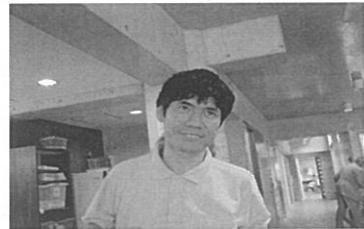
山根：わかった。仕事の話はやめよう。水谷さん、野球してたやろ。ポジションはどこ？内野手？

水谷：.....

山根：もう少しだけ質問していいかな？

水谷：あかんわあ もう

こんな感じで毎日楽しく（？）過ごしている水谷さんです。これからもよろしく！



パンジーでアルバイトしていた時は職員になるなんて考えても無くて、でも採用試験の話を聞いた時はすぐに受けようと思いました。

「試験当日に慌ててレポートを書いて提出したのは山根君だけ！」と、施設長に笑いながらも怒られてしまい、きっと毎年言われ続けるのでしょうか。無事に職員になる事ができ、今は配食や園芸など介護以外の仕事も増えて、パニック状態になりながらも、授産の仲間に支えられながら楽しく働いています。仕事中、メンバーの、がんばって自立しようとしている姿を見て、改めて自分もがんばろうという気持ちになりました。福祉の仕事の事、まだ何も知らない未熟者ですが、これからもよろしくお願ひします。

（山根 洋二）

以前は老人デイサービスセンターに勤めていました。クリエイティブハウスで障害をもつ人たちとの関わりは今回が初めてです。初日はみんなの名前を覚えるのに精一杯で、一日を終え布団に入り目を閉じると、メンバーの姿が次々と脳裏にせんでした。今会が多くたったのましたが、今はいます。毎日がい何かを見つけています。人かイキイキしても毎日が楽しく過ごしています。メンバーともお互いに支え、支えられつつ頑張っていきたいと思います。



浮かび、あまり寝られままでは、老人と接する機会始めはとまどいもありとても楽しく仕事をして平凡じゃなく、日々新しつつ、勉強させてもらったりも今の仕事に就いて、るねとも言われ、私自身とても充実した日々を過ごしています。メンバーともお互いに支え、支えられつつ頑張っていきたいと思います。  
(中谷準子)

趣味はカラオケがすきすき大好きです。三度の食事よりも、でもすこしだけおんちかな? 次に車の掃除かな、おじさんが掃除するとどんな車でもぴっかぴっかになるぞーーー、バネットも。ボクシングも習っていたよ。(二

年間)

パンジーの感想は、一番に感じたことは職員のみなさんが親切で優しい人でいっぱいの職場だなと感じました。又メンバー達と出会ったとき本当に明るい事、私の心を洗われる気持ちになりました。これからも一日も長くパンジーの皆さんと一緒におつきあいをお願いします。  
虎走 節夫



3月からパンジーの事務として、働いております吉野です。「パンジーの事務所は誰でも自由に入ってこられる開放的な造りと、雰囲気になっているところがいいな」というのが初めの印象でした。当事者の方も気軽に入ってきて、話しかけてくれます。

事務の仕事が忙しくて頭の中が一杯になっている時などは、当事者の方との会話や、ふれあいが自分の気持ちを穏やかにしてくれるので、気分新たに仕事ができます。

吉野 順次





く別人の様におしゃべりをしている姿も見ることができました。

皆の様々な姿を見ることができ、本当に楽しい仕事だと実感しています。

これからも明るく楽しくをモットーに頑張りますのでよろしくお願いします。

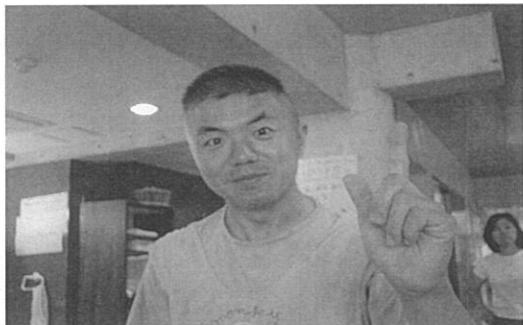
池辺

2月中旬から、パンジーIの事務所で働くようになった稻葉健といいます。カラフルでかっこいい車椅子（自画自賛）に乗っているのすぐに覚えてもらえたと思います。

去年の春に学校を卒業したばかりで仕事に就くのはパンジーが初めてです。色々教えてもらいながら事務の仕事を覚えていき、安心して利用してもらえるように、またメンバーのみなさんと楽しみながらやっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



稻葉



似た者同士が集まると、何だか「ほっ」とできるけど全く異なった者同士が集まって、お互いそれぞれ理解しあえたらきっと、もっともっと「ほっ」とできる気がします。たやすくはないけれど、でも大切な感覚だと思います。皆さん、はじまして。紹介が遅れてしまいました。この4月から「パンジーII」で職員として働いている山本寿です。これからパンジーのメンバーたちとは、飾らずありのままの付き合いをしていきたいと思います。そして、お互いの違いを認め合い、理解しあえる関係を築いていけたらと思います。どうか、よろしくお願いします。

山本 寿



# パンジー一祭り

去る5月26日（土）、毎年恒例のパン  
ジー祭りが行われました。良いお天気に恵まれ、

沢山の人々が来て下さって、活気ある1日となりました。

去年、雨天のため中止になった移動動物園でしたが、今年も企画し、動物達とのふれあいを一杯楽しみました。室内では、腹話術や、パンジーの当事者の一人である田辺剛志さんの「サックス オン ステージ」、若江中学校プラスバンド部の演奏など熱気一杯のプログラムでした。プラスバンド部の演奏は迫力あるもので、初めはその音にびっくりして泣きそうになったり、飛び上がって興奮する人もいましたが、そのうち室内に拡がる音楽の躍动感、楽しさに目を輝かせ聞き入る皆の表情が印象的でした。田辺さんの心にしみるサックス演奏を聞いて「自分も一緒にやってみたい」と思った人がいて、それも素敵なことだと思いました。

今年は、生ビールや、パンジーⅡで販売中のしじみを使って「しじみセット  
(炊き込みご飯としじみ汁)」も模擬店に加え、結構好評でした。

当日を迎えるに当たって、多くの皆様、地域の方々の色々な御協力を頂きました。  
本当にありがとうございました。 (はたなか)



お知らせ

## 知的障害者の参政権について

7月29日に参議院議員選挙が行われます。「障害者が投票をする」ということについて、視覚障害者や身体障害者に限っては制度上において何らかの配慮はされてきましたが、知的障害者が投票を行うことについては、今まで議論はされませんでした。それどころか、どこかの入所施設では書道の時間にそこの施設長が応援している候補者の名前を書く練習をするなど、むしろ知的障害者の参政権が悪用されている現実があります。

パンジーでも、投票を支援することに対してはあまり取り組めてなかった反省もあり、今回の選挙では、数名の候補者をパンジーに呼んで話をしてくれたり、またアメリカで障害者の投票を訴えているショーン氏が来阪するにあたり開かれる集会に、参加する予定です。

(7月13日 場所：芦原橋総合福祉センター 時間：14時)

難解な言葉が多い政治の世界ではありますが、分かりやすい言葉で説明し、公平な情報提供が行われれば、多くの人が政治に参加することができます。またピープルファーストが自己権利擁護の運動であるのならば、なおさら知的障害者も政治に参加すべきだと考えます。この分野での取り組みが広がりをみせるには、支援者の怠惰を解消し、政治がここに目を向け、世論が理解を示すことが不可欠です。 (福岡)

## 書き損じハガキ、(未使用)切手を送ってください!

ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていますか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力お願いします。

ご協力ありがとうございます



<後援会費を振り込んでいただいた方> (敬称を略させていただきます)

坂本吉章 大賀太

<カンパ・寄付をいただいた方>

赤川由里子 木下嘉久子 黒石 水谷貞子 三谷 吉安宣子 大賀太 橋本訓宏

<書き損じハガキ・未使用切手・未使用テレホンカードをお送りいただいた方>

宮田隆司 西田美知子 木下嘉久子 秋山嘉子 黒石 松島洋平 宮田 高野



自立生活センター



からのお知らせ

### 「ガイドヘルパー大募集」

わくわくでは、地域の障害を持つ人たちの生活も積極的に支援していきたいと考えています。少しづつですが外出活動に参加したりする人が出てきています。様々な人たちの生活を支援するガイドヘルパーを大募集しています。どんなふうにできるんだろうと少しでも興味を持たれた方、まずは「わくわく」までお電話ください。お待ちしています!

お知らせ 7月28日(土) 第2回ガイドヘルパー研修会

### 「障害者自立相談のるで!」

自立生活したい人、在宅でごしている人、ピアカウンセラーがさまざまな相談に応じています。

TEL 0729-60-3611 FAX 0729-60-3613 E-mail wakuwaku@abox.so-net.ne.jp



パンジーでは、  
後援会員を募集  
しています

#### 賛助会員

|                       |     |                  |
|-----------------------|-----|------------------|
| 1口                    | 1ヶ月 | 500円             |
| 本会員                   | 1口  | 1ヶ月 1,000円       |
| 特別会員                  | 1口  | 1ヶ月 5,000円       |
| 郵便振替番号 00950-1-300551 |     | クリエイティブハウス「パンジー」 |

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8  
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818  
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会  
大阪市東中浜2-10-13  
緑橋グリーンハイツ1階

一九九六年五月一日

第三種郵便物認可

毎日発行

領価二五〇円